

6—8 東部地域のまちづくりのテーマ・方針

◆まちづくりのテーマ

癒し・憩い・若さにあふれる 里山の自然と共生するまち

◆主なまちづくりの方針

- ◆小立野寺院群などの歴史文化資産を保全しながら、適正な土地利用の誘導により、良好な住環境を維持していきます。
- ◆中山間地域では、地域住民と連携し温泉などの特徴ある地域資源を活かした土地利用を図ります。
- ◆生活拠点では、商店街の空き店舗対策などにより、地域住民が日常的に必要な買い物ができる商業機能を維持し、生活利便性の確保を図ります。
- ◆公共交通ネットワークの充実に向け、公共交通重要路線を中心に利便性向上を図るとともに、日常生活に必要な地域住民による移動手段の確保を促進します。
- ◆奥卯辰山健民公園や本多の森公園は、広く市民や来訪者の憩いや交流の場となる緑の拠点として維持・充実に図ります。
- ◆卯辰山や小立野台などの斜面緑地は、良好な住宅地の背景として自然環境を保全します。
- ◆移転整備する金沢美術工芸大学は、隣接する石川県立図書館と連携をしつつ、人材育成拠点、美と知の研究拠点、地域に開かれた文化芸術の交流拠点として機能強化を図ります。

土地利用の方針

- 小立野寺院群などの歴史文化資産を保全しながら、適正な土地利用の誘導により、良好な住環境を維持していきます。
- 地域住民との協働による地区計画やまちづくり協定の導入により、大学門前町として質の高い秩序ある住環境の形成を図ります。
- 地域住民との協働による地区計画やまちづくり協定の活用により、きめ細かな土地利用を推進し、良好な住環境の保全、創出を図ります。
- 金沢美術工芸大学移転後の跡地は、計画的かつ有効的な利用を検討します。



▲小立野寺院群

第6章 地域別のまちづくり方針



▲湯涌温泉

- 市街地の主要な幹線道路の沿道(沿道活用地区)では、日常生活に必要な施設の立地を誘導します。
- 中山間地域では、地域住民と連携し温泉などの特徴ある地域資源を活かした土地利用を図ります。
- 森林の適正な管理・保全・整備などにより、自然環境共存地区の緑豊かな里山を保全します。

市街地基盤づくり



▲金沢大学附属病院

- 中心市街地地区では、多様な都市機能の誘導や金澤町家の活用などにより、賑わいと活力のある市街地の形成を進めます。
- 生活拠点では、商店街の空き店舗対策などにより、地域住民が日常的に必要な買い物ができる商業機能を維持し、生活利便性の確保を図ります。
- 木造住宅密集地では、住環境の改善や防災機能の向上を図る取組を推進します。

交通体系づくり

- 金沢福光連絡道路の整備により、東海北陸自動車道(福光インターチェンジ)とのアクセス強化を図ります。
- 都市計画道路小立野旭町線の整備を着実に進め、都市内道路ネットワークの構築を目指します。
- 公共交通ネットワークの充実に向け、公共交通重要路線を中心に利便性向上を図るとともに、日常生活に必要な地域住民による移動手段の確保を促進します。
- 公共交通重要路線沿線を中心にパーク・アンド・ライドを推進するとともに、バス専用レーンの拡充などによる利用環境の向上を図ることで、マイカーから公共交通への利用転換を推進します。

憩いの場づくり



▲奥卯辰山健民公園

- 奥卯辰山健民公園や本多の森公園は、広く市民や来訪者の憩いや交流の場となる緑の拠点として維持・充実に図ります。
- 内川スポーツ広場や戸室スポーツ広場などは、自然と触れ合うレクリエーションの場として、適切な維持管理を行います。

農林基盤づくり

- 中山間地域では、農林業を支える集落環境の維持や再生につながる取組を進めます。
- 住宅地と里山が隣接する地区では、野生動物との遭遇事故を未然に防ぐ総合施策を展開します。
- 「金沢湯涌みどりの里」を活用した農業体験などを通して、農林業の振興と周辺地域の活性化を図るための取組を推進します。

自然と歴史を活かした景観づくり

- 卯辰山や小立野台などの斜面緑地は、良好な住宅地の背景として自然環境を保全します。
- 医王山のササユリ群生などの希少植物の生育地やミズナラ、ブナなどの天然林の保全をはじめ、優れた自然環境を保全します。
- 小立野寺院群などの歴史的街並みの保全とその周辺での適切な景観誘導により、調和のとれた景観形成を図ります。
- 辰巳用水、長坂用水などの潤いある美しい景観の保全に努めるとともに、歴史的な街並みや住宅街との調和を図ります。
- 外環状道路（山側幹線）では、NPOなどとの連携による清掃活動や屋外広告物などの適切な景観誘導により、魅力ある沿道景観の創出を図ります。



▲医王山のブナ林



▲外環状道路（山側幹線）

安全安心な環境づくり

- 災害発生時における中山間地域の集落の孤立化を防止するため、集落間を結ぶ道路や安全な避難場所の確保を図るとともに、情報通信システムなどの活用により、防災性の向上を図ります。
- 地域内の土砂災害警戒区域などにおいて、土砂災害防止対策を推進します。

第6章 地域別のまちづくり方針



▲大桑防災拠点広場

- 犀川、浅野川などの河川や内水を適切に管理し、水害に強いまちづくりを推進します。
- 緊急時の避難路の確保など地域の防災性を高めるため、建築物の耐震化を積極的に促します。
- 大規模災害発生時における市内の被災地域への支援拠点や支援物資の集積基地として、大桑防災拠点広場の機能の充実を図ります。

生活基盤づくり



▲末浄水場

- 末浄水場や戸室リサイクルプラザなど供給処理施設の更新などを計画的に実施し、ライフサイクルコストの低減を図ります。
- 上下水道、ガスは、定期的な点検などのほか、地域住民・町会・事業者などからの通報などの様々な協働により、不良箇所の早期発見と迅速な対応に努めます。

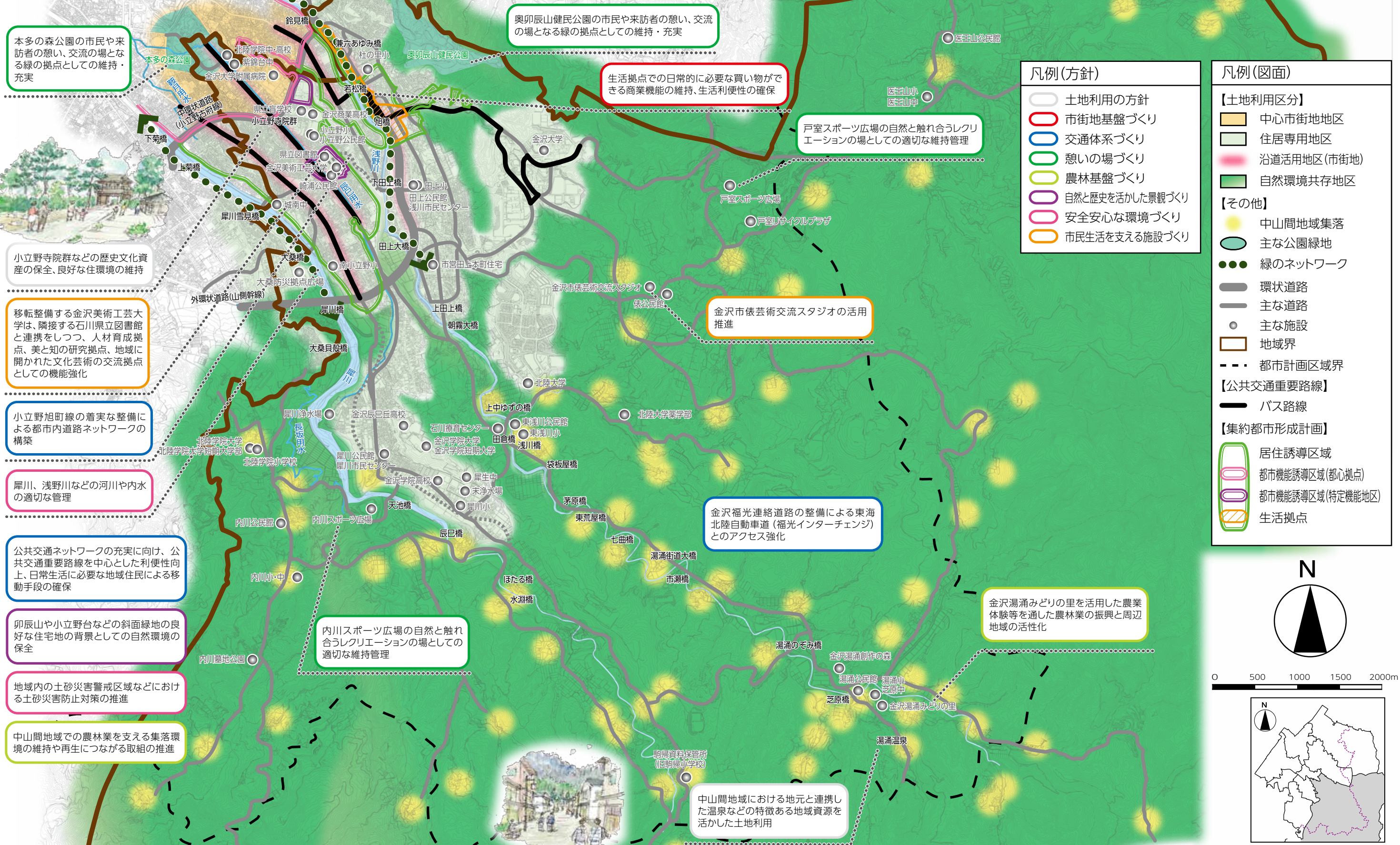
市民生活を支える施設づくり

- 移転整備する金沢美術工芸大学は、隣接する石川県立図書館と連携をしつつ、人材育成拠点、美と知の研究拠点、地域に開かれた文化芸術の交流拠点として機能強化を図ります。
- 高齢者福祉や子育て支援をはじめとする公共施設の計画的な整備・更新を行い、施設の安全性の確保や快適な市民サービスの提供を図ります。
- 地域の交流拠点施設となる「金沢市依芸術交流スタジオ」の活用を推進します。

市民参加・協働のまちづくり方針

- 町会加入率向上や地域活動への参加促進など地域コミュニティの醸成を図るとともに、まちづくりの担い手の育成と多様な市民活動、組織への支援を推進します。
- 地域の活性化に向けた活動など、地域住民が主体となった取組への支援を行いながら、市民協働によるまちづくりを推進します。

『癒し・憩い・若さにあふれる里山の自然と共生するまち』



本多の森公園の市民や来訪者の憩い、交流の場となる緑の拠点としての維持・充実

奥卯辰山健民公園の市民や来訪者の憩い、交流の場となる緑の拠点としての維持・充実

生活拠点での日常的に必要な買い物ができる商業機能の維持、生活利便性の確保

戸室スポーツ広場の自然と触れ合うレクリエーションの場としての適切な維持管理

金沢市俵芸術交流スタジオの活用推進

金沢福光連絡道路の整備による東海北陸自動車道（福光インターチェンジ）とのアクセス強化

金沢湯涌みどりの里を活用した農業体験等を通じた農林業の振興と周辺地域の活性化

中山間地域における地元と連携した温泉などの特徴ある地域資源を活かした土地利用

小立野寺院群などの歴史文化資産の保全、良好な住環境の維持

移転整備する金沢美術工芸大学は、隣接する石川県立図書館と連携をしつつ、人材育成拠点、美と知の研究拠点、地域に開かれた文化芸術の交流拠点としての機能強化

小立野旭町線の着実な整備による都市内道路ネットワークの構築

犀川、浅野川などの河川や内水の適切な管理

公共交通ネットワークの充実に向け、公共交通重要路線を中心とした利便性向上、日常生活に必要な地域住民による移動手段の確保

卯辰山や小立野台などの斜面緑地の良好な住宅地の背景としての自然環境の保全

地域内の土砂災害警戒区域などにおける土砂災害防止対策の推進

中山間地域での農林業を支える集落環境の維持や再生につながる取組の推進

凡例(方針)

- 土地利用の方針
- 市街地基盤づくり
- 交通体系づくり
- 憩いの場づくり
- 農林基盤づくり
- 自然と歴史を活かした景観づくり
- 安全安心な環境づくり
- 市民生活を支える施設づくり

凡例(図面)

【土地利用区分】

- 中心市街地地区
- 住居専用地区
- 沿道活用地区(市街地)
- 自然環境共存地区

【その他】

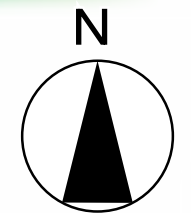
- 中山間地域集落
- 主な公園緑地
- 緑のネットワーク
- 環状道路
- 主な道路
- 主な施設
- 地域界
- 都市計画区域界

【公共交通重要路線】

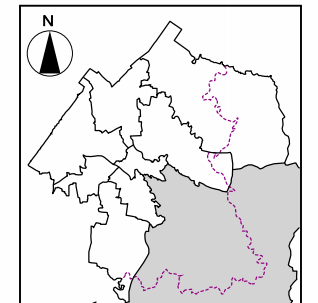
- バス路線

【集約都市形成計画】

- 居住誘導区域
- 都市機能誘導区域(都心拠点)
- 都市機能誘導区域(特定機能地区)
- 生活拠点



0 500 1000 1500 2000m



8. 東部地域

校下(地区)名：小立野・崎浦・内川・犀川・湯涌・田上・東浅川・俵・医王山